

議事録

議 事 の 名 称	令和3年度第1回寄居町総合教育会議	
開 催 日 時	令和3年12月24日(金) 午後1時30分 開会	
開 催 場 所	寄居町役場 7階 研修・相談室B	
議 長 氏 名	花輪 利一郎 町長	
出 席 者 氏 名	出席者名簿のとおり	
事務局出席者氏名	出席者名簿のとおり	
議 事 事 項	<p>議事</p> <p>(1) 寄居町教育大綱の見直しについて</p> <p>(2) 児童生徒の学力及び体力について</p>	
議事の経過 (議事の要旨)	別紙のとおり	
議 事 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄居町教育大綱(案)(資料1) ・ 令和3年度 寄居町児童生徒の学力及び体力について(資料2) 	
その他の事項		
議事録の確定		
確定年月日	議長署名	
令和4年2月17日	花輪 利一郎	

別紙

令和3年度第1回寄居町総合教育会議出席者名簿

役職	職名	氏名	出欠席
委員	町長	花輪 利一郎	出席
	教育長	関根 光男	出席
	教育長職務代理	清水 幸三郎	出席
	教育委員会委員	小林 央子	出席
	教育委員会委員	今村 幸男	出席
	教育委員会委員	杉田 佑美	出席
意見聴取者	教育総務課長	黒瀬 和俊	出席
	教育指導課長	岡田 久志	出席
	生涯学習課長	黒瀬 浩史	出席
	教育指導課主幹	内田 徳和	出席
	教育指導課主幹	高橋 寿和	出席
事務局	総務課長	嶋崎 靖彦	出席
	総務課主幹	坂本 雅洋	出席

発言者	議題・発言内容（要旨）・決定事項
総務課長	1 開会
町長	2 町長あいさつ
	3 協議事項
	(1) 寄居町教育大綱の見直しについて
総務課長	寄居町教育大綱（案）について説明をした。（資料1）
総務課主幹	— 会議での意見等 —
	【質疑】
今村教育委員	7ページに5つの基本目標と20の施策があるが、その施策は後期基本計画の「主要な取り組み」と同じか。
	かなり細かく書き込まれているが、教育大綱は長が作成するもので、ここまで書き込まれると教育委員会の主体的な考え方を反映するには、かなり拘束されてしまうのではないか。
	【回答】
町長	教育行政と密接な課題が非常に増えている。町長部局と教育委員会がしっかりと連携する中で、総合的に検討するために、かなり細かく踏み込んで記載させていただいた。
総務課長	これまでの大綱ではここまで書き込んでいない。ご指摘のとおり、大綱は地方公共団体の教育、学術文化の振興の総合的な施策について、目標や施策の根本等の方針を定めるものであるもので、詳細な施策についてまで策定することを求めるものではない。
	【意見】
清水教育長職務代理	第6次寄居町総合振興計画前期基本計画の基本施策に、学校教育と教育環境の充実が掲げられている。その成果指標として、教育環境の町民満足度の目標値は20%であった。
	各基本目標に対してこれだけ多くの施策があるということは、それぞれその成果目標を全て掲げるとなると、大変な作業と評価点検になってくると思われる。点検評価を出すとすると、少し検討してはどうか。
	【回答】
総務課長	大綱は基本目標や基本的な理念を掲げるものであり、具体的な書き込みまでは求められていない。
	委員からのご意見で、基本理念と5つの基本目標のみを記載し、20の施策までは記載しないという選択肢もある。

<p>清水教育長職務代理</p>	<p>【意見】 そうであれば、教育委員会としても独自に成果指標が作りやすいのではないかと。</p>
<p>町長</p>	<p>【回答】 皆さんの意見を踏まえて、7ページについては削除することとする。</p>
<p>清水教育長職務代理</p>	<p>【質疑】 これまでの総合教育会議の資料を確認したが、総合教育会議の協議事項について、教育行政重点施策と、教育委員会の事務に関する点検評価が掲げられたのは、総合教育会議の最初の年だけであった。 総合教育会議の協議事項で、教育を行うための諸条件の整備、重点的に講ずべき施策についてが挙げられているのだから、教育行政重点施策と教育委員会の事務に関する点検評価については、毎年協議事項とするのが適当ではないか。</p>
<p>総務課長</p>	<p>【回答】 今回は寄居町総合振興前期基本計画が終了し、後期基本計画に移行するというので、まずはその大綱の策定を協議事項として挙げさせていただいた。 また、児童生徒の学力及び体力について、これまでのデータで厳しい数字等も挙がっていることから、この場でご議論いただきたいということで協議事項として挙げさせていただいた。 今後はこの総合教育会議を運営していく上での協議事項の一つの参考として承らせていただきたい。</p>
<p>今村教育委員</p>	<p>【質疑】 ① 3ページの「子供、若者、女性、高齢者、障害者」という表現には、中高年層や働く世代が含まれているのか。 「町を育てていく」という表現に違和感がある。 4ページの基本目標の中に「心の豊かさを感じられるまち」とあるが、「心の」は不要ではないか。感じられる豊かさは人によって異なるのではないか。 5ページの基本方針の中に「成長と学びの環境の充実」とあるが、人が成長するのは学びから成長するのだから、「学びと成長」の方がよいのではないか。 また、「悠久のときを感じる歴史や文化的な豊かさ」という表現があるが、「悠久」という言葉の中には古い歴史、永遠に続く時間という意味を含んでいるので、歴史という言葉が重複しているのではないか。 ② 6ページの「その実現に向けて挑戦していくことを重視します」とあるが、重視よりも尊重の方が適切ではないか。</p>

<p>総務課長</p>	<p>【回答】</p> <p>① 3ページから5ページについては総合振興計画基本構想で決定されているため、この修正は難しい。</p> <p>後期基本計画が終了して次の総合振興計画等を策定する際に、今日いただいたご指摘なども踏まえて文言整理をしていきたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>② こちらについてはご意見をいただきたい。</p> <p>子供たちが夢を持って実現に向かって挑戦していくことを大切にしたい、ということだと思っているので、尊重でもいいと思う。</p>
<p>町長</p>	<p>皆さんの意見を踏まえて、「重視」を「尊重」に修正する。</p>
<p>清水教育長職務代理</p>	<p>【意見】</p> <p>契約の体系を示す場所でロゴマークが2つ使用されているが、小さくてわかりづらいので、工夫していただきたい。</p>
<p>総務課長</p>	<p>【回答】</p> <p>町が数々の施策を展開する中でPRする際にこのロゴマークを使用しているため、周知の意味も含めていれさせていただいた。削除も含めて検討する。</p>
<p>清水教育長職務代理</p>	<p>【質疑】</p> <p>3ページに「私たちは」と唐突に出てくる。これは誰を指し示しているのか。教育大綱に書かれているのだから総合教育会議に出席しているメンバーのことを指すのか、それともその下の「町民や地域団体、行政、民間事業者など多彩な主体」を指しているのか。この場で全員が共通理解しておきたい。</p>
<p>総務課長</p>	<p>【回答】</p> <p>「町民や地域団体、行政、民間事業者などの多彩な主体が一丸となってまちづくりを展開する」とあることから、多彩な主体が「私たちは」ということで理解している。</p>
<p>町長</p>	<p>では、指摘等いただいた箇所を修正した上で、寄居町教育大綱を決定することによろしいか。</p> <p>一同了承</p>
<p>教育指導課長</p>	<p>(2) 児童生徒の学力及び体力について</p> <p>児童生徒の学力及び体力について説明をした。(資料2)</p>

<p>今村教育委員</p> <p>教育指導課長</p>	<p>【質疑】</p> <p>中学生の令和3年度寄居町の平均値と県平均値の比較表において、持久走と50m走は全て町が上回っているように思えるが。</p> <p>【回答】</p> <p>町の平均値のタイムが遅いことを示している。</p>
<p>清水教育長職務代理</p>	<p>【意見】</p> <p>《学力について》</p> <p>課題に対する手立てとして、授業改善と補充学習とあり、素晴らしい取り組みだと思う。ただ各校での実践に際して最も大事なものは、教員一人一人の意識のあり方ではないか。</p> <p>全国学力・学習状況調査や県学力・学習状況調査に先立って過去に出題された問題を事前に実施するとなった場合、教員がその取り組みに懐疑的であると、全国や県の学習状況調査の問題は基礎基本を押さえた良問であるから、その問題をクリアすることが確実に子供たちの学力向上を図れるという機会を逃してしまうことになる。教員が、学力調査を活用して子供たちの学力を変えてやるぞ、と意識した途端に、学力調査に向かう心構えがガラッと変わってくるはず。</p> <p>このことから、各校の管理職には、教職員一人一人の意識改革に気を配ってもらい、手立てが実効性のあるものになるよう進めていただきたい。</p> <p>また公費の英語検定の取り組みは素晴らしい成果を収めていて、今後ますます充実する事業ではないか。前年度比較だけでなく、通年での記録を精査して、事業の改変改革に繋がられるようにしてほしい。</p>
<p>教育指導課長</p>	<p>【質疑】</p> <p>《体力について》</p> <p>自分たちが子供のころ、数十年前の記録と比較してみたい。</p> <p>ここ数年は体力の数値が低下傾向にあるようだが、どんなことが原因だと考えられるか。またこれからの課題として、具体的な手立てはあるか。</p> <p>【回答】</p> <p>《体力について》</p> <p>寄居町のデータでは数十年前の記録は残っておらず、20年くらい前ならば残っている可能性はある。県全体では昭和の時代の記録は残っていると思うので、そのデータも参考にしながら研究したい。</p> <p>また体力に関する数値の低下の原因として予想されるのは、新型コロナウイルスの感染防止における体力向上の取り組みの縮小または中止、体育授業の制限などが考えられる。</p> <p>これまでは各小学校とも毎朝走る取り組みをしていたが、マスク着用での取り組みを疑問視して、現在は活動が止まっている学校が多い。また部活動</p>

の制限もあったことから、感染防止を徹底しながら、体力向上推進委員会を中心に様々な取り組みをしていきたい。

具体的には、ICTを効果的に活用した授業実践や、すでに作成されている握力投力向上プログラムに取り組む、また家庭でできる運動プログラムの作成の協議などを進めている。

【質疑】

- ① 3ページの「4. 課題に対する手立て」において、学校サポーターを多数配置することと、学校訪問を通じた授業改善の指導や課題に対する解決策を指導助言することについては、適切なバランスを取らないと、多数の学校サポーターが配置されていることを前提に授業を組み立てていく形になってしまう恐れはないか、本来先生方が果たす役割を自分たちで決定することに躊躇するのではないか。
- ② 同ページの町統一の学習規律の確立の徹底と、各学校のオリジナルの授業スタイルとの相違点。
- ③ 町費英検受験について、合格率が特に高い年度と低い年度を除くと、ほとんどの年度が40%台である。合格率が変わらないという現実をもう少し分析してみた方がいいと思うがどうか。

【回答】

- ① 学校訪問を通じた授業改善の指導等とは授業改善に役立てるための指導であり、学校サポーターの配置とは授業改善というよりも苦手な児童生徒の支援である。学校サポーターの配置は授業改善の枠組みとは違うかもしれないが、多くの予算を執行していることと、教員免許を持っていた、現在持っている、あるいは教員経験があるような多くの学習サポーターを配置している大きな事業なので、手立ての中に入れてさせていただいた。
- ② 各学校の授業スタイルとは、授業の導入、展開、まとめの中でどのように子供たちの活動をしていくかという教職員の共通理解、共通行動を示したものである。
町統一の学習規律とは、授業や学習の中身ではなくて、規律、例えば「挨拶」であったり、「先生の話を目で聞く」であったり、「授業前に授業の準備をする」であるような、町統一の学習規律についてである。
- ③ 英検の合格率については、もう一度研究を進めてまいりたい。

【意見】

寄居町の児童生徒は、体力の面で県でもかなり上位を占めていた時期もあった。

ボール投げについては、以前寄居町はボール投げが県平均と比較して最も悪く、投げることにに関して授業の中でも数多く取り組んだがなかなか成果が出なかった。今回の結果を見ると、ボール投げが県平均前後にまとまってい

今村教育委員

教育指導課長

小林教育委員

<p>教育指導課長</p>	<p>るので、10年前、20年前くらいから取り組んできたことが、今になって成果として出てくるのかと思う。</p> <p>【質疑】</p> <p>体力向上推進委員会のうち、健康教育部の記載には虫歯処置率調査の掲載とあるが、ここには養護教諭は入っているのか。</p> <p>【回答】</p> <p>養護教諭が入っており、また栄養教諭も入っている。</p>
<p>小林教育委員</p>	<p>【意見】</p> <p>例えば持久走大会を見ていると、かなり肥満の子がいて走るのが大変そうであった。健康教育で体型、特に肥満児を減らしたりすると持久走や走力の数値も上がると思うので、家庭も一緒になって、食事などに取り組むとなると養護教諭も必要であるため確認した。</p>
<p>教育指導課長</p>	<p>【回答】</p> <p>健康教育については、今年度は寄居中学校が県の食育の委嘱を受けて研究を進めているところで、町全体の取り組みとして共通理解をしているところである。</p> <p>体力向上推進委員会にはPTAの役員もいて、そちらとも共通理解をした上で、家庭、地域、学校との連携を図りながら体力向上を進めたい。</p>
<p>杉田教育委員</p>	<p>【意見】</p> <p>《学力について》</p> <p>小学2年生の、より・E放課後塾は全生徒対象だが、小学6年生対象の英語塾と、中学生対象の英検対策講座、より・E土曜塾は希望者となる。子供はお知らせを持って帰らないことが結構あって、英検対策講座が無料で受けられることを知るのがに時間がかかる。自分にとって初めての子供である場合など、知らないうちに終わっていたということもあると思う。</p> <p>より・E土曜塾で、保護者も参加できる機会があって参加したら、進路に対する姿勢、取り組みなど全て教わって、すごく良かった。ただ、参加した保護者が結構少なくて、もっとアピールすれば、できれば学校にもっとアピールしてもらえれば、皆さんが受けられるようになるのではないかと。</p> <p>《体力について》</p> <p>現在高校生くらいの子たちが小学生の頃は、寄居町が県内でも運動能力が優れていると聞いていた。高校生の子供が小学生の時、音読カード、自主勉カードのほかに筋肉カードのようなものを取り入れている先生が担任だった。その筋肉カードは課題を達成すると保護者がサインする方式で、でも1年で終わってしまった。</p> <p>それを1年生の時から高学年に向けて段階的に取り組んでいく。あるいは長期休業で取り組む体力アップを普段の宿題でも出してもらって体力アップにつなげていくような、普段から取り入れるようにして少しずつ体力をア</p>

教育指導課長	アップしていければいいと思う。 【回答】 保護者の立場として貴重な意見だと思うので、その意見を反映していきたい。
総務課長	4 その他 議事録の確認を依頼
総務課長	5 閉会